

本製品の最大耐荷重：150 kg

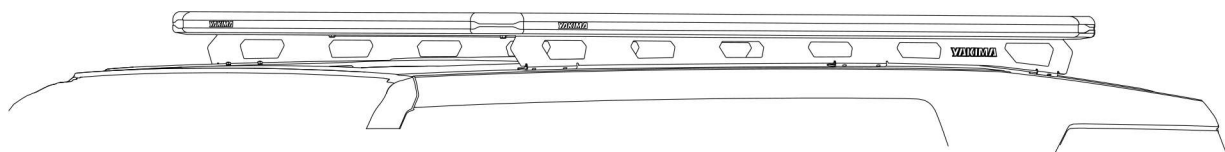


重要：耐荷重について

- 荷重＝ロックンロード＋ラギッドライン＋ロックンロードアクセサリ＋積み荷の、重量の合計
 - 車両メーカーが公表している、車両のルーフの最大耐荷重を確認し、最も低い値を参照にしてください。
 - ここでいう最大耐荷重は、適切に舗装された舗装道路での走行にのみ適用されます。山間部キャンプ場、林道、その他オフロードを走行する場合は、耐荷重が最大33%減少しますのでご注意ください。
- 詳しくは、右記のQRコードを読み込み、ガイドを参考にしてください。

取り付けの前にご確認ください

- 取り付けの前に説明書をよくお読みください。
- セット内容の部品を確認してください。部品が不足している、間違っている、または破損しているようであれば、YAKIMA販売店にご連絡ください。
- 本製品を取り付ける前に、車両のルーフを十分に洗車してください。
- 取り付けが終了したら、この説明書は車内で保管してください。

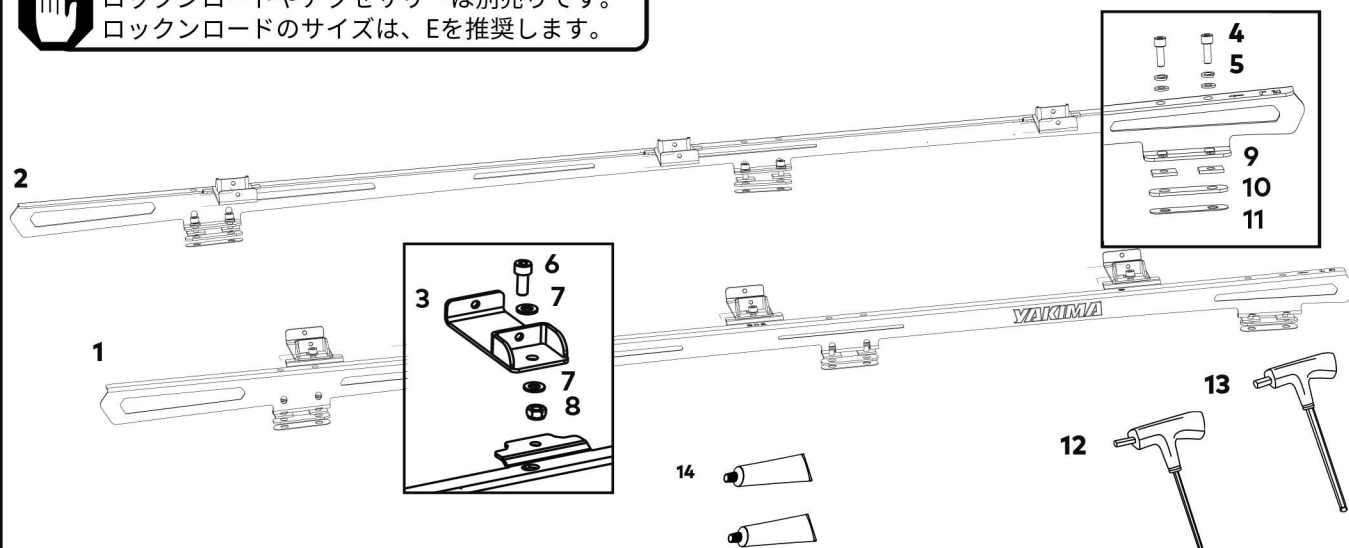


セット内容

番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
1.	左スチームフレーム205	x1	8.	M8緩み止めナット	x6
2.	右スチームフレーム205	x1	9.	フォームライナー	x12
3.	アームコネクター	x6	10.	スクエアパッド	x6
4.	M8×30mm 六角穴付ヘッドレスボルト	x12	11.	粘着テープ	x6
5.	M8弾丸クッション	x12	12.	4 mm L型ボールエンド六角レンチ	x1
6.	M8×20mm 六角穴付きボルト	x6	13.	6 mm L型ボールエンド六角レンチ	x1
7.	M8ワッシャー	x24	14.	防水接着剤	x2



ロックンロードやアクセサリは別売りです。
ロックンロードのサイズは、Eを推奨します。



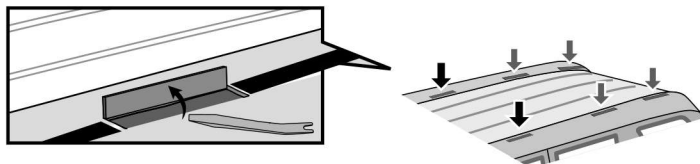
1 車両のルーフを 洗車します

車両のルーフの汚れを、
十分に除去してください。



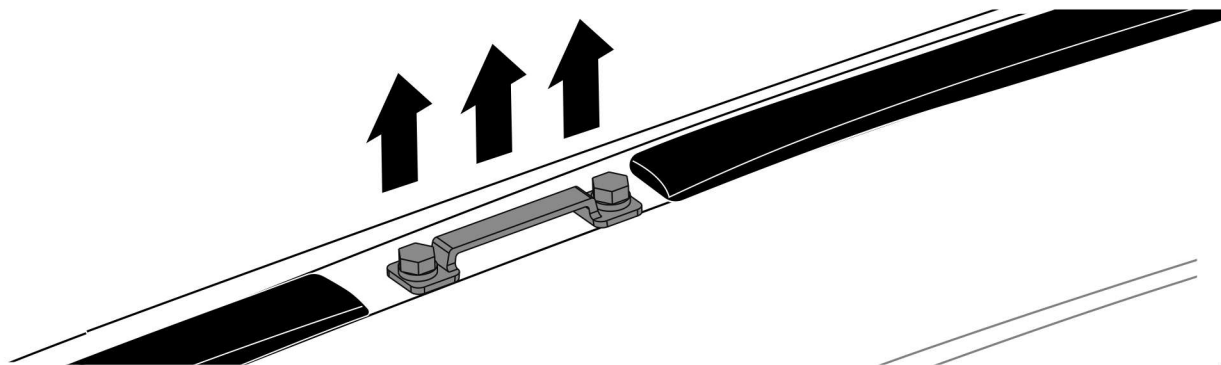
2 カバープレートを外します

ルーフレールが付いている車両は、ルーフレールを外してください。
カバープレートの開け方は、車両の取扱い説明書を確認してください。



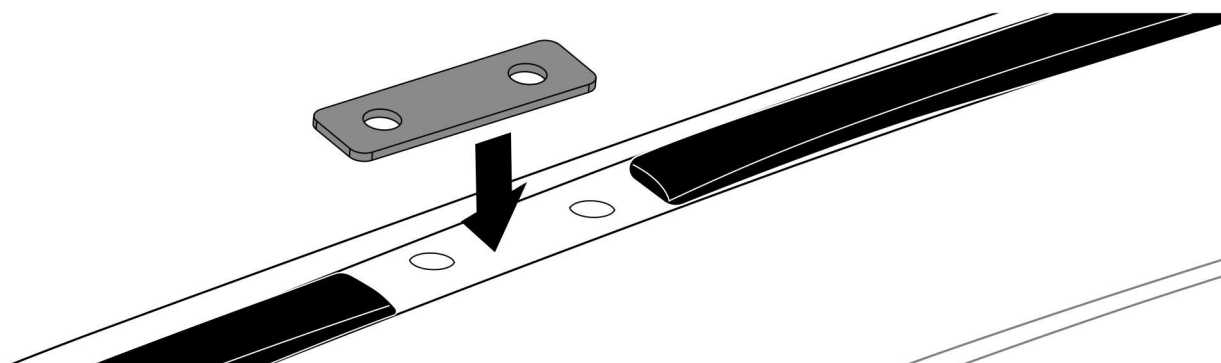
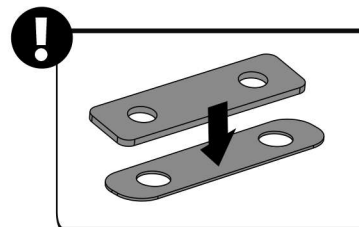
X6

3 ボルトとサポートプレートを外します



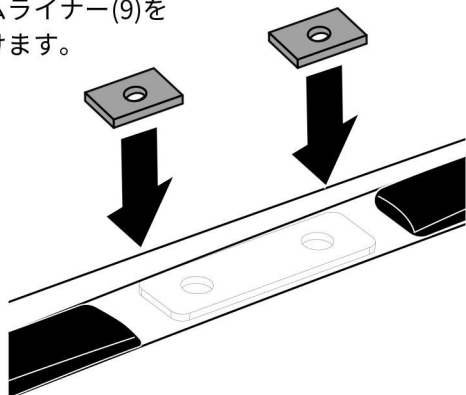
4 スクエアパッドを貼り付けます

スクエアパッド(10)の裏を、粘着テープ(11)を使用し
取り付け穴の位置を合わせて貼り付けてください。



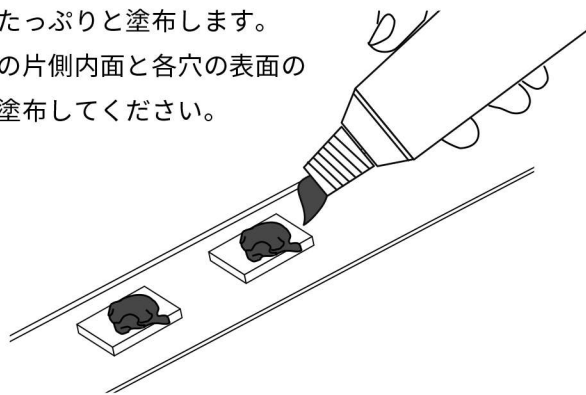
5 フォームライナーを取り付けます

④で貼り付けたスクエアパッドの上に、フォームライナー(9)を取り付けます。



6 防水接着剤を塗布します

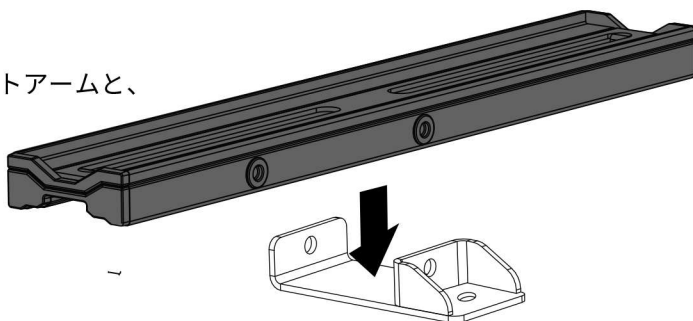
付属の防水接着剤(14)を、⑤で取り付けしたフォームライナーの上にたっぷりと塗布します。
レールの片側内面と各穴の表面の両方に塗布してください。



7 サポートアームを取り付けます

ロックンロードプラットフォームキット(別売り)のサポートアームと、アームコネクター(3)を組み立てます。

サポートアームの取り付け穴と、アームコネクターの取り付け穴が、一直線になるように取り付けてください。



サポートアームの中央の穴を使用して取り付けてください。

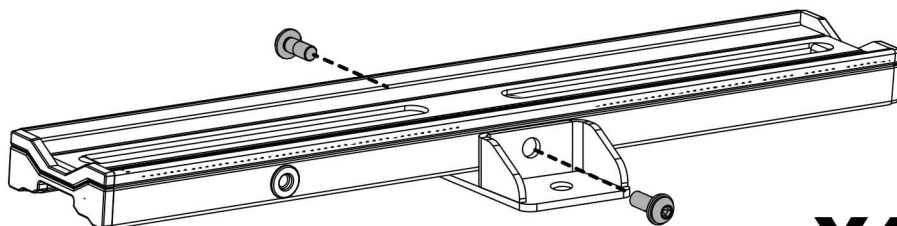
X6

8 サポートアームを固定します

図のように、サポートアームをロックンロードプラットフォームキットのM4 x 16mmソケットヘッド・キャップスクリュー(x2)・ワッシャーで、ピボットマウントを固定します。

4 mm L型ボールエンド六角レンチ(12)で、適度に締め付けます。

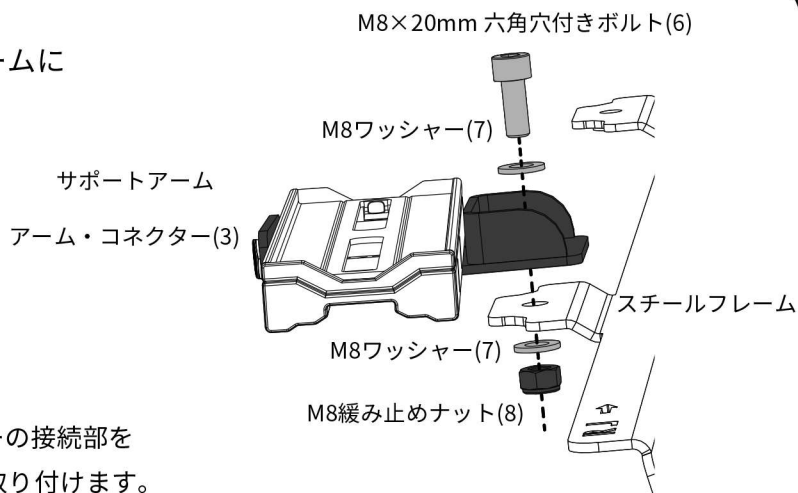
注：固定した後でも、必要に応じてサポートアームは動かすことができます。



X6

9

アームコネクタースチールフレームに取り付けます



M8金具を使って、図のようにアームコネクタの接続部をスチール・フレーム(1)(2)上部の取り付け穴に取り付けます。すべての取り付け部に、同じように取り付けてください。

X6

10

アームコネクタを固定します

M8×20mm 六角穴付きボルト (6)を、6 mm L型ボールエンド六角レンチ (13)で締めます。
M8緩み止めナット (8)を、13mmスパナで締め付けます。
すべてのボルトとナットが、適度に締め付けられているか確認してください。



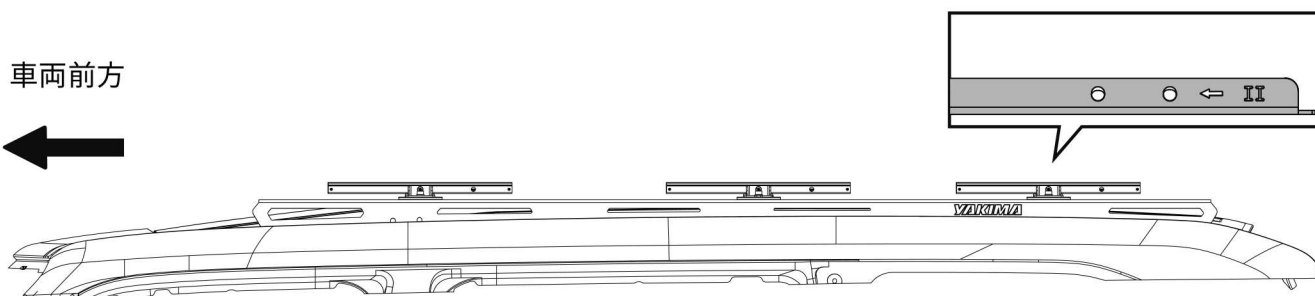
X6

11

ラギッドラインを車両のルーフに設置します

①～⑩で組み立てたラギッドラインを、スチールフレーム上部に表示された矢印の向きを参考に、取り付け穴の位置を合わせながら、慎重に車両のルーフの上に置きます。

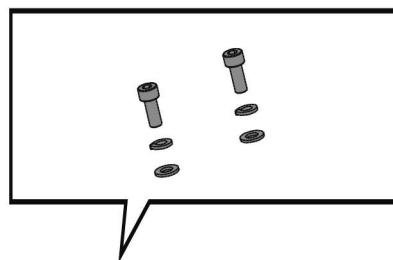
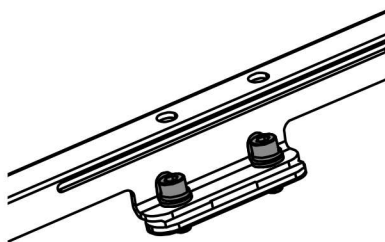
車両前方



12

ボルトで固定します

注：ボルトは強く締めすぎないでください。

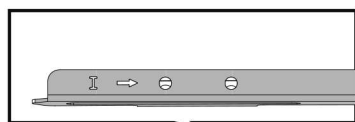
**X6****13**

反対側も同じ手順で取り付けます

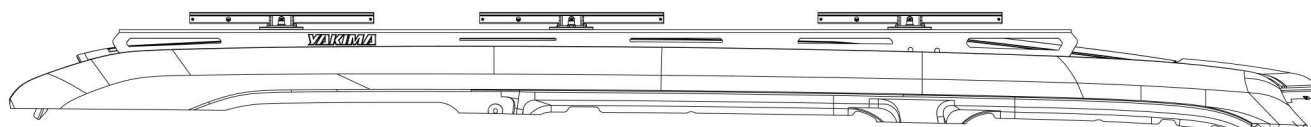
ステップ⑦～⑫の手順を繰り返します。

左右両方のラギッドラインが確実に取り付けられていることを確認してください。

ロックンロードプラットフォームをラギッドラインに取り付ける前に、
各ボルトが確実に固定されていることを確認してください。



車両前方



次に、ロックンロードプラットフォームの取付け説明書を参照して
取り付けを進めてください。

注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリーの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従い行ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。
(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。
アクセサリー・ラックに穴を開けるなど加工をしている取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のよう
な時に確認してください。

- ・出かける前
- ・ラックまたは積載物を載せた後
- ・短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・長時間の移動では定期的に
- ・悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリーラックに指定されている最大耐荷重、または車両
メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量＝ルーフラック本体重量＋アクセサリーラック重量＋積載物重量

積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。

積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、
天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、
積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリーラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で
保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモニ
ウム添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリーラックとルーフラックは、
使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリーラックに損傷がないか定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品
のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリーラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外の
スペアパーツやアクセサリーを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それ
によって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト：<https://yakima.com/>
日本語サイト：<https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL：0779-89-2171

Mail：info@auto-proz.com

HP：<https://www.auto-proz.com/>